

各 位

会 社 名 スターツコーポレーション株式会社
 代表者名 代表取締役社長 河野 一孝
 (J A S D A Q ・ コード 8 8 5 0)
 問合せ先
 役職・氏名 経理部長 村松 久行
 電 話 0 3 - 6 2 0 2 - 0 1 1 1

個別通期業績予想の修正及び子会社に対する投資損失引当金の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の個別通期業績予想値を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。また、当社の子会社に対する投資損失引当金を特別損失として計上することといたしましたのであわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期 個別通期業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回予想 (A)	4,600	1,400	900	1,200	円 銭 25.07
実績値 (B)	4,841	2,145	1,588	828	17.31
増減額 (B - A)	241	745	688	▲372	—
増 減 率	5.3%	53.3%	76.5%	▲30.9%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	3,974	1,049	510	647	13.53

(修正の理由)

平成 23 年 3 月期の売上高におきましては配当収入の増加によって若干前回予想を上回る結果となる見込みではありますが、一般管理費及び販売費におきまして広告宣伝費等の費用対効果の見直しに伴う減少によって、営業利益は 745 百万円増加の 2,145 百万円、経常利益は 688 百万円増加の 1,588 百万円と前回予想を大きく上回る見込みであります。その一方で、財務内容の健全性の観点から子会社に対する投資損失引当金 623 百万円等の計上によって、当期純利益は前回予想に比べ 372 百万円減少し、828 百万円となる見込みであります。

2. 子会社に対する投資損失引当金の計上について

当社は、平成 23 年 3 月期第 4 四半期累計期間において、当社の子会社について、将来業績が回復していく可能性を認識しつつも、当該子会社の財政状態及び業績状況等を勘案し、将来的な減損リスクの回避を目的として健全性の観点から、投資損失引当金を 623 百万円計上することといたしました。なお、これは個別決算上のもので、連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響は軽微であります。

以 上